

日本帝國文部省第三十八年報

自明治四十三年  
至明治四十四年

上卷

十二人、講習ヲ修了シ修業證明書ヲ授與シタル者ハ十五人ニシテ科目ニ依リ之ヲ區別スレハ大工、金工仕上ニ係ル者各二人、家具ニ係ル者三人、織物仕上及力織機ニ係ル者八人ナリ之ヲ要スルニ前記實業教員講習會ノ講師ハ十八人、講習員ハ二百八十九人、講習證明書受領者ハ二百七十七人ニシテ前年度ニ於ケル總數ニ比シ講師ニ八人ヲ減シ講習員ニ五十六人、講習證明書受領者ニ五十八人ヲ増セリ。茲ニ教員講習會ノ開催地、講師及講習員等ノ累年比較ヲ示セハ左ノ如シ

師範學校中學校高等女學校教員講習會

實業學科教員講習會

開催地	講師	講習員	講習證明書受領者	開催地	講師	講習員	講習證明書受領者	
明治四十三年度	東京、廣島	五六	一〇八七	一〇三九	東京、静岡、大分	一八	二八九	二七七
同 四十二年度	東京、廣島	三八	四一三	三九七	東京、大阪、富山、島根	二六	二三三	二一九
同 四十一年度	東京、仙臺、金澤、廣島、熊本	二四	七七四	七一	名古屋、福岡、奈良、長崎	九	二三〇	二二二
同 四十年年度	東京、仙臺、金澤、廣島、熊本	二〇	六八七	六五五	京都、滋賀、福島	八	三六七	三五〇
同 三十九年度	東京、金澤、廣島、熊本	一三	五五二	四九六	東京、長野、大阪、鹿兒島、山形	一三	一八八	一七七

美術展覽會

美術展覽會ハ毎年一回之ヲ開會スル規定ニシテ其ノ出品ハ日本畫、西洋畫及彫刻ノ三種トシ美術審査委員ノ鑑査ヲ經タル出品ヲ陳列スルノ外尙美術審査委員若ハ美術審査委員

タリシ者ノ出品、各部ニ屬スル委員四分ノ三以上ノ同意ニ依リ推薦シタル者ノ出品、美術展覽會ニ於テ一等賞ヲ受ケタル者ノ出品及前回ノ美術展覽會ニ於テ二等賞ヲ受ケタル者ノ出品ハ孰モ鑑査ニ依ラスシテ之ヲ陳列スルコトヲ得ルモノトス

第四回美術展覽會ハ本年度十月十四日ヨリ十一月二十三日ニ至ル四十一日間上野公園内帝室博物館所屬竹ノ臺陳列館ニ於テ之ヲ開會セリ其ノ觀覽總人員ハ七萬六千三百六十三人ニシテ開會一日

平均觀覽人員ハ千八百六十三人ニ當リ前回ニ比シ觀覽總人員ニ一萬五千八百二十八人、開會一日平均觀覽人員ニ三百八十七人ヲ増セリ出品出願總點數ハ第一部日本畫四百六十九點、第二部西洋畫五百十六點、第三部彫刻五十點計千三十五點ニシテ其ノ中陳列ヲ爲シタルモノハ審査委員ノ鑑査ヲ經タルモノ日本畫六十點、西洋畫百七點、彫刻二十五點計百九十二點、審査委員ノ出品日本畫二十一點、西洋畫二十點、彫刻八點計四十九點、總計二百四十一點ナリ之ヲ前回ニ比スレハ出品出願點數ニアリテハ日本畫ニ七點、西洋畫ニ七十八點ヲ増シ彫刻ニ十點ヲ減シ總數ニ於テ七十五點ヲ増シ陳列ヲ爲シタルモノニアリテハ西洋畫ニ二十九點ヲ増シ日本畫及彫刻ニ各二點ヲ減シ總數ニ於テ二十五點ヲ増セリ而シテ作者ノ現住地ニ依リ其ノ出品人員及出品點數ヲ區別スレハ日本畫ニアリテハ東京府三十四人、四十點、京都府三十七人、三十八點、大阪府及茨城、栃木ノ二縣各一人、一點、西洋畫ニアリテハ東京府八十一人、百十五點、京都府四人、五點、神奈川縣一人、一點、愛知縣三人、三點、英國在留ノ者二人、三點、彫刻ニアリテハ東京府二十一人、三十三點ナリ

第四回美術展覽會ニ陳列ヲ爲シタル出品中審査委員ノ出品ヲ除キ其ノ他ノモノニ就キ各審査委員審査ヲ行ヒ其ノ結果ニ依リ褒賞ヲ授與シタルモノハ日本畫ニ於テ二等賞二人、三等賞十人、褒狀二十一人、西洋畫ニ於テ二等賞一人、三等賞十一人、褒狀十八人、彫刻ニ於テ二等賞及三等賞各一人、褒狀五人、總計七十人ニシテ之ヲ前回ノ受賞者ニ比スレハ日本畫ニアリテハ二等賞ニ増減ナク三等賞ニ二人ヲ減シ褒狀ニ二人ヲ増シ西洋畫ニアリテハ二等賞ニ二人ヲ減シ三等賞ニ四人ヲ増シ褒狀ニ増減ナク彫刻ニアリテハ二等賞ニ一人ヲ増シ三等賞ニ一人ヲ減シ褒狀ニ増減ナシ今其ノ受賞ニ係ル作品命題竝出品人府縣別等ヲ示セハ左ノ如シ

第一部 日本畫

二等賞

供燈 京都 菊池契月 ねとづれ 東京 尾竹竹坡

三等賞

女歌舞伎 東京 鏑木清方 かりくら 京都 木島櫻谷

上園賞秋 京都 上村松園 少將伊衡 東京 高橋廣湖

秋のましら 東京 榊原蕉園 孔雀王 茨城 木村武山

初冬 東京 池上秀畝 山海圖 東京 小室翠雲

大佛炎上 京都 平井煤仙 夕月 京都 川村曼舟

褒状

逢阪山の逕 京都 上田萬秋 暮雪 京都 庄田鶴友

秋山曉靄 京都 田近竹邨 姿の關守 東京 島崎柳塙

夏山浴雨 東京 松林桂月 朝霧寒林 東京 田中頼章

海と山 東京 島内松南 車争ひ 東京 荒井寛方

深秋 東京 小阪芝田 琵琶行 東京 橋本關雪

園の花 京都 三宅吳曉 秋の色 東京 平田松堂

渡船 東京 村岡應東 葵祭 東京 尾形月三

入江の夕 京都 徳田隣齋 寂雨 京都 服部春陽

松林高士 京都 池田桂仙 大宮人 東京 山村耕花

四季の花 東京 中倉玉翠 ながさき日 京都 榊原紫峯

あひるのかど 京都 有井祥雲

第二部 西洋畫

二 等 賞

巖 壁 東京 中川 八郎

三 等 賞

讀書の後 東京 山下 新太郎

柚 坐せる女 東京 小杉 未醒

茶 屋 東京 南 薫 造

ネルのきもの 東京 八條 彌吉

湖 畔 東京 渡邊 與平

窓邊の肖像 東京 眞山 孝治

褒 状

かげのひと 京都 寺松國太郎

牧 夫 東京 田 中 良

静 物 東京 仙波 均平

神 の 森 東京 吉田ふじを

燈 下 東京 夏目七策

曇 東京 神奈川 大橋 正堯

飼はれたる山羊 東京 辻 永

九十九里 東京 青山 熊治

海邊の村 東京 中村 彝

コック場 東京 平岡 權八郎

老人 東京 九里 四郎

奈 良 東京 矢崎 千代二

灯 東京 薄 拙太郎

張り物 東京 坂本 繁二郎

白 薔 薇 東京 鈴木 錠吉

静けきゆふべ 東京 相田 寅彦

黄 菊 白 菊 東京 片多 徳郎

朱 桐 東京 柳 敬 助

牧 場 東京 池田 永治

風 伯 東京 長原 孝太郎

白粉の女 東京 長谷川 昇 若 松 東京 水野 以文

第三部 彫刻

二等賞

墓 守 東京 朝倉 文夫

三等賞

女 東京 放萩 原守衛

褒状

髪 洗 東京 藤井 浩祐

湯 あがり 東京 内藤 伸

埃 東京 建畠 大夢

化粧 東京 石川 確治

ボンヤリした馬 東京 池田 勇八

第四回美術展覽會出品中文部省ニ於テ買上品審査委員ノ意見ヲ聽キ買上ケタルモノハ日本畫四點、西洋畫及彫刻各三點、其ノ價額總計三千百五十圓ニシテ之ヲ前回ノ買上ニ比スレハ日本畫及西洋畫ニ孰モ増減ナク彫刻ニ二點ヲ増シ價額總計ニ五百三十圓ヲ減セリ今其ノ作品命題及作者氏名等ヲ示セハ左ノ如シ

第一部 日本畫

供 燈 二等受賞者 菊池 契月 おとづれ 二等受賞者 尾竹 竹坡

若 竹 審査委員 菊池 芳文 初冬 三等受賞者 池上 秀畝

第二部 西洋畫

肖像 審査委員 和田 英作 まひる 審査委員 中澤 弘光

九月末 二等受賞者 中川八郎

第三部 彫刻

仙丹 審査委員 米原雲海

斥候 審査委員 新海竹太郎

女 三等受賞者 故萩原守衛

茲ニ第四回美術展覽會ニ係ル出品者、出品點數受賞人員、文部省買上品等ノ細別並累年比較ヲ示セハ左表ノ如シ

美術展覽會

明治四十三年度

種別	出品出願者		陳列許可人員及陳列品點數		受賞人員		文部省買上品	
	人員	點數	人員	點數	人員	點數	人員	點數
第一部 日本畫	三五九	四六九	五六	六〇	二	一〇	二	四
第二部 西洋畫	一六六	五二六	一六七	一〇七	一	二	一	三
第三部 彫刻	七八一	五〇	四七	二五	一	一	一	三
總計	七二八	一、〇三五	一五八	一九三	四	二二	四	一〇
明治四十二年度	七二二	九六〇	一五四	一七七	五	二二	四	八
同 四十一年度	六一九	八四二	一五九	一八六	五	三九	四	一四
同 四十年 度	七五一	九九〇	一六〇	一八六	四	三六	一	一四

本表人員ノ欄×印ハ二點△印ハ三點ノ出品者ナリ○前回本會ニ於テ二等賞ヲ受ケタル者ノ出品ノ欄本年度ニ係ルモノ記入ナキハ之ニ該當スル者多クハ審査委員トナリ出品シタル以テ審査委員出品ノ欄ニ計入シタル等ニ由ル

學位授與 學位ハ法學博士、醫學博士、藥學博士、工學博士、文學博士、理學博士、農學博士、林學博士及

獸醫學博士ノ九種トシ帝國大學大學院ニ入り定規ノ試験ヲ經タル者又ハ論文ヲ提出シテ學位ヲ請

明治四十五年七月二十三日印刷

明治四十五年七月二十六日發行

# 文部大臣官房文書課

印刷者 高島幸三郎  
東京市京橋區高代町四番地

印刷所 高島活版所  
東京市京橋區高代町四番地